表−12. 1　調査地点別下水道水質測定結果（基本調査対象物質）（１）

単位(μg/L)

				4-n-ｵｸﾁﾙﾌｪﾉｰﾙ							4-t-ｵｸﾁﾙﾌｪﾉｰﾙ						
			検出下限値	[0.1]							[0.1]						
			定量下限値	[0.3]							[0.3]						
				平成10年度			平成11年度				平成10年度			平成11年度			
				前期	後期		夏期		秋期		前期	後期		夏期		秋期	
				放流	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	放流	流入	放流	流入	放流	流入
①	多摩川	多摩川	多摩川上流	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	0.6	ND	0.3
②		多摩川	北多摩一号	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	tr(0.1)	tr(0.2)	ND	0.3	ND	tr(0.2)
③		多摩川	南多摩	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	ND	tr(0.1)	ND	tr(0.2)	ND	ND
④		多摩川	等々力	ND	ND	ND	-	-	-	-	tr(0.1)	tr(0.1)	tr(0.1)	ND	tr(0.1)	ND	tr(0.1)
⑤	淀川	琵琶湖	湖南中部	ND	ND	0.4	-	-	-	-	ND	tr(0.1)	2.3	ND	0.9	ND	1.2
⑥		宇治川	洛南	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	ND	0.6	ND	tr(0.1)	ND	tr(0.1)
⑦		桂川	鳥羽	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	ND	0.3	ND	tr(0.1)	ND	tr(0.1)
⑧		桂川	洛西	ND	ND	tr(0.2)	-	-	-	-	ND	tr(0.1)	1.2	ND	0.3	tr(0.1)	0.6
⑨		宇治川	伏見	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	tr(0.1)	2.1	ND	tr(0.2)	ND	2.8
⑩		淀川	渚	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	tr(0.1)	tr(0.1)	-	-	-	-
			ブランク値の範囲	0.059～0.068	0.0000		-		-		0.028～0.040	0.0000		0.0000～0.0016		0.0000	

ND　：不検出（検出下限値未満）
tr　：検出下限値≦tr＜定量下限値

ブランク値の範囲：実態調査時の操作ブランク値

1) (　)内は参考値であり，測定対象物質が試料中に存在する痕跡は
　確認できるものの，分析精度上，数値は十分信頼できるわけではない。
2) 渚処理場は，平成11年度より放流先を変更（淀川以外への放流）となったため
　平成10年度のみ対象とした。
3) 平成11年度は4-n-ｵｸﾁﾙﾌｪﾉｰﾙは調査せず。

表－12. 6　　調査地点別下水道水質測定結果（採水日と採水時刻）

				放流水量　（m^3／日）				採水日及び採水時刻										
				平成10年度		平成11年度		平成10年度					平成11年度					
				前期	後期	夏期	秋期	前期		後期			夏期			秋期		
								日付	放流	日付	放流	流入	日付	放流	流入	日付	放流	流入
①	多摩川	多摩川	多摩川上流	142,030	131,340	184,740	166,750	8月18日	16:00	12月11日	15:30	13:00	8月3日	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※1	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※1	12月16日	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※1	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※1
②		多摩川	北多摩一号	199,410	193,480	189,570	192,040	8月18日	16:10	12月11日	15:50	14:30	8月3日	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※1	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※1	11月9日	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※1	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※1
③		多摩川	南多摩	87,630	74,990	97,400	93,470	8月18日	14:00	12月11日	10:50	10:00	8月3日	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※1	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※1	11月11日	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※1	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※1
④		多摩川	等々力	150,239	157,620	165,965	163,611	8月18日	11:10	12月11日	10:40	12:50	8月3日	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※2	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※2	11月19日	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※2	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※2
⑤	淀川	琵琶湖	湖南中部	147,800	125,520	163,690	148,370	7月29日	14:30	11月19日	14:30	13:00	7月22日	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※2	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※2	10月20日	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※2	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※2
⑥		宇治川	洛南	81,008	73,703	81,057	77,816	7月29日	14:00	11月19日	14:10	13:00	8月4日	14:00	13:30	12月14日	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※1	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※1
⑦		桂川	鳥羽	641,640	533,690	648,980	685,190	7月29日	13:00	11月19日	16:00	10:00	8月5日	11:35	10:45	12月14日	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※1	10:00
⑧		桂川	洛西	150,627	130,706	184,800	131,720	7月29日	16:00	11月19日	16:00	17:00	8月4日	15:45	15:00	12月14日	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※1	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※1
⑨		宇治川	伏見	101,140	94,610	92,660	89,330	7月29日	14:30	11月19日	14:40	13:20	8月4日	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※1	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※1	10月26日	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※2	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ※2
⑩		淀川	渚	60,143	52,625	―	―	7月29日	11:00	11月19日	11:00	10:00	-	-	-	-	-	-

1）鳥羽の放流水量は桂川に放流している系列分の放流水量
2）渚処理場は、平成11年度より放流先を変更（淀川以外への放流）となったため
平成10年度のみ対象とした。

※1：24時間（3時間ﾋﾟｯﾁ8回）のｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ
※2：昼間（2時間ﾋﾟｯﾁ4回）のｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄ

表－12. 2　調査地点別下水道水質測定結果（基本調査対象物質）（２）

単位(μg/L)

				ﾉﾆﾙﾌｪﾉｰﾙ							ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ						
			検出下限値	[0.1]							[0.2]						
			定量下限値	[0.3]							[0.6]						
				平成10年度			平成11年度				平成10年度			平成11年度			
				前期	後期		夏期		秋期		前期	後期		夏期		秋期	
				放流	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	放流	流入	放流	流入	放流	流入
①	多摩川	多摩川	多摩川上流	0.5	0.3	7.0	tr(0.2)	7.1	tr(0.1)	5.9	4.9	1.5	31	tr(0.2)	17	tr(0.2)	11
②		多摩川	北多摩一号	0.3	0.3	3.6	0.3	5.4	tr(0.2)	2.6	1.4	ND	16	1.9	23	ND	31
③		多摩川	南多摩	tr(0.2)	tr(0.1)	1.7	tr(0.1)	3.7	tr(0.2)	2.5	1.8	0.7	36	tr(0.4)	16	tr(0.4)	15
④		多摩川	等々力	0.7	0.7	2.9	0.4	2.5	tr(0.2)	3.3	2.8	tr(0.4)	48	0.7	25	tr(0.5)	16
⑤	淀川	琵琶湖	湖南中部	tr(0.2)	0.4	35	ND	5.6	ND	6.5	ND	1.4	24	tr(0.2)	4.4	tr(0.2)	20
⑥		宇治川	洛南	0.4	0.4	29	0.4	3.7	ND	3.6	tr(0.2)	2.4	29	ND	3.9	ND	13
⑦		桂川	鳥羽	0.4	0.5	8.0	0.3	7.8	ND	3.6	ND	tr(0.5)	11	ND	3.7	ND	8.1
⑧		桂川	洛西	0.5	0.4	29	ND	7.5	ND	4.3	0.8	1.6	17	tr(0.2)	2.9	ND	11
⑨		宇治川	伏見	0.7	0.9	75	tr(0.2)	16	tr(0.2)	28	ND	3.6	20	tr(0.3)	2.1	ND	14
⑩		淀川	渚	tr(0.2)	0.3	2.4	-	-	-	-	tr(0.4)	4.0	36	-	-	-	-
			ブランク値の範囲	0.002～0.007	0.0000		0.0000～0.0414		0.000～0.043		0.069～0.698	0.18～0.19		0.0394～0.0948		0.111～0.154	

ND　：不検出（検出下限値未満）
tr　：検出下限値≦tr＜定量下限値

ブランク値の範囲：実態調査時の操作ブランク値

1) ( )内は参考値であり，測定対象物質が試料中に存在する痕跡は
確認できるものの，分析精度上，数値は十分信頼できるわけではない。
2) 渚処理場は，平成11年度より放流先を変更（淀川以外への放流）となったため
平成10年度のみ対象とした。

表－12. 3　調査地点別下水道水質測定結果（基本調査対象物質）（3）

単位(μg/L)

				ﾌﾀﾙ酸ﾌﾞﾁﾙﾍﾞﾝｼﾞﾙ							ﾌﾀﾙ酸ｼﾞ-n-ﾌﾞﾁﾙ						
			検出下限値	[0.2]							[0.2]						
			定量下限値	[0.6]							[0.6]						
				平成10年度			平成11年度				平成10年度			平成11年度			
				前期	後期		夏期		秋期		前期	後期		夏期		秋期	
				放流	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	放流	流入	放流	流入	放流	流入
①	多摩川	多摩川	多摩川上流	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.7	tr(0.5)	ND	1.9	ND	2.6	ND	9.5
②		多摩川	北多摩一号	ND	ND	tr(0.2)	ND	tr(0.3)	ND	0.6	tr(0.2)	ND	3.6	ND	3.9	ND	4.5
③		多摩川	南多摩	ND	ND	ND	ND	tr(0.3)	ND	tr(0.4)	tr(0.2)	ND	2.1	ND	1.5	ND	3.9
④		多摩川	等々力	ND	ND	tr(0.2)	ND	tr(0.2)	ND	tr(0.5)	tr(0.2)	ND	2.6	ND	1.2	ND	4.8
⑤	淀川	琵琶湖	湖南中部	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	tr(0.2)	1.7	tr(0.2)	1.4	tr(0.3)	3.6
⑥		宇治川	洛南	ND	ND	0.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.3	ND	2.9	tr(0.2)	1.4
⑦		桂川	鳥羽	ND	ND	tr(0.4)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.3	ND	1.0	ND	3.4
⑧		桂川	洛西	ND	ND	1.9	ND	ND	ND	ND	ND	tr(0.2)	1.1	tr(0.2)	3.6	ND	6.0
⑨		宇治川	伏見	ND	ND	0.6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.5	ND	4.9	ND	5.6
⑩		淀川	渚	ND	ND	tr(0.2)	-	-	-	-	ND	ND	4.4	-	-	-	-
			ブランク値の範囲	0.0000	0.012～0.055		0.0000～0.0299		0.000		0.006～0.019	0.03～0.19		0.0000～0.0291		0.002～0.021	

ND ：不検出（検出下限値未満）
tr ：検出下限値≦tr＜定量下限値

ブランク値の範囲：実態調査時の操作ブランク値

1) ( )内は参考値であり，測定対象物質が試料中に存在する痕跡は
確認できるものの，分析精度上，数値は十分信頼できるわけではない。
2) 渚処理場は，平成11年度より放流先を変更（淀川以外への放流）となったため
平成10年度のみ対象とした。

表－12．4　調査地点別下水道水質測定結果（基本調査対象物質）（4）

単位(μg/L)

				ｱｼﾞﾋﾟﾝ酸ｼﾞ-2-ｴﾁﾙﾍｷｼﾙ							ﾋﾞｽﾌｪﾉｰﾙA						
			検出下限値	[0.01]							[0.01]						
			定量下限値	[0.03]							[0.03]						
				平成10年度			平成11年度				平成10年度			平成11年度			
				前期	後期		夏期		秋期		前期	後期		夏期		秋期	
				放流	放流	流入	放流	流入	放流	流入	放流	放流	流入	放流	流入	放流	流入
①	多摩川	多摩川	多摩川上流	tr(0.02)	0.04	1.5	tr(0.01)	0.11	tr(0.01)	0.10	0.08	tr(0.02)	0.77	0.08	1.7	0.03	0.56
②		多摩川	北多摩一号	tr(0.02)	ND	0.35	tr(0.02)	0.06	ND	0.03	0.05	0.04	1.0	tr(0.02)	0.35	0.04	0.40
③		多摩川	南多摩	0.03	ND	0.80	ND	0.06	ND	0.06	0.04	ND	2.0	tr(0.01)	0.61	tr(0.02)	0.43
④		多摩川	等々力	0.03	ND	0.41	ND	0.10	ND	0.05	0.51	0.14	1.3	0.08	0.94	0.30	0.53
⑤	淀川	琵琶湖	湖南中部	0.08	ND	1.8	ND	0.06	ND	0.25	0.04	tr(0.01)	1.5	ND	0.76	0.07	0.97
⑥		宇治川	洛南	0.10	ND	1.6	ND	0.07	tr(0.01)	0.08	0.28	0.13	0.80	0.03	0.56	0.07	0.63
⑦		桂川	鳥羽	0.13	ND	0.54	tr(0.01)	0.06	ND	0.27	tr(0.01)	0.04	0.65	tr(0.01)	1.2	tr(0.02)	0.54
⑧		桂川	洛西	0.05	ND	0.93	ND	0.07	tr(0.01)	0.04	0.12	tr(0.02)	1.5	0.04	2.9	tr(0.01)	0.62
⑨		宇治川	伏見	0.15	ND	2.5	ND	0.09	0.04	0.09	0.05	0.05	0.35	ND	0.31	tr(0.01)	0.38
⑩		淀川	渚	0.15	ND	1.8	-	-	-	-	0.06	0.04	1.0	-	-	-	-
			ブランク値の範囲	0.014～0.015	0.0080～0.0085		0.0075～0.0139		0.0000～0.0155		0.001～0.015	0.003～0.0086		0.0034～0.0037		0.0000～0.0039	

ND ：不検出（検出下限値未満）
tr ：検出下限値≦tr＜定量下限値

ブランク値の範囲：実態調査時の操作ブランク値

1) ( )内は参考値であり，測定対象物質が試料中に存在する痕跡は
確認できるものの，分析精度上，数値は十分信頼できるわけではない。
2) 渚処理場は，平成11年度より放流先を変更（淀川以外への放流）となったため
平成10年度のみ対象とした。

表－12．5　　　調査地点別下水道水質測定結果（基本調査対象物質）（5）

単位(μg/L)

				17β-ｴｽﾄﾗｼﾞｵｰﾙ						
			検出下限値	[0.0002]						
			定量下限値	[0.0006]						
				平成10年度			平成11年度			
				前期	後期		夏期		秋期	
				放流	放流	流入	放流	流入	放流	流入
①	多摩川	多摩川	多摩川上流	0.015	0.015	0.034	0.0087	0.0097	0.030	0.054
②		多摩川	北多摩一号	0.014	0.030	0.050	0.0078	0.013	0.020	0.042
③		多摩川	南多摩	0.0069	0.010	0.042	0.0048	0.017	0.0091	0.046
④		多摩川	等々力	0.055	0.026	0.052	0.010	0.026	0.026	0.084
⑤	淀川	琵琶湖	湖南中部	0.0041	0.0028	0.038	0.0022	0.044	0.0012	0.044
⑥		宇治川	洛南	0.030	0.021	0.039	0.028	0.048	0.021	0.029
⑦		桂川	鳥羽	0.0045	0.0050	0.033	0.0045	0.028	0.010	0.028
⑧		桂川	洛西	0.036	0.0081	0.041	0.0052	0.035	0.0074	0.033
⑨		宇治川	伏見	0.016	0.013	0.032	0.0074	0.040	0.010	0.054
⑩		淀川	渚	0.0032	0.0037	0.046	-	-	-	-
			ブランク値の範囲	0.00010～0.00014	0.0001		0.00010～0.00012		0.00012～0.00019	

ND ：不検出（検出下限値未満）
tr ：検出下限値≦tr＜定量下限値

ブランク値の範囲：実態調査時の操作ブランク値

1) ( )内は参考値であり，測定対象物質が試料中に存在する痕跡は確認できるものの，分析精度上，数値は十分信頼できるわけではない。
2) 渚処理場は，平成11年度より放流先を変更（淀川以外への放流）となったため平成10年度のみ対象とした。

			検出下限値
			定量下限値
①	多摩川	多摩川	多摩川上流
②		多摩川	北多摩一号
③		多摩川	南多摩
④		多摩川	等々力
⑤	淀川	琵琶湖	湖南中部
⑥		宇治川	洛南
⑦		桂川	鳥羽
⑧		桂川	洛西
⑨		宇治川	伏見
⑩		淀川	渚
			ブランク値の範囲